

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標:発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像:よりよい未来を共に創り出す人間

第8号 2023年3月17日(金)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

違いを認めること、平和を希求すること

山口大学教育学部附属山口小学校長 吉 鶴 修

令和4年7月に開催いたしました「第2回やまぐち学園学校運営協議会」において、委員の皆様から学園や学校の課題を踏まえた本年度の取組について熟議をいたしました。その取組の一つで、大学と連携した「学びセミナー」の実施についてご提案をいただきました。

ご提案に基づき、令和5年3月に附属山口小学校5年生を対象として、山口大学の田本先生をはじめ同研究室の学生5名の皆さんをお招きし、「学ぶとは何か?」というテーマでフリートークを行いました。6人程度の小グループで、学生の皆さんや本校の教員もファシリテーターとして入り、「学ぶ」ということについて自由に話し合いました。子供たちの自由闊達な意見を少し紹介させていただきます。

- 「学ぶ」とは人生だと思ふ。答えはたくさんある
- 負けや失敗を受け入れ、次の挑戦に生かすこと。みんなで協力すること、助け合うことも「学ぶ」こと。
- このような哲学的対話をもっとしてみたい。
- 今の人生をもっと楽しめるようにすることが「学ぶ」ことだと思ふ。
- 「学ぶ」とは、一つの問いに対して、答えを考えている途中にあると思ふ。何故なら、問いに対して考えて、その中でいろいろな考えを知ることが「学び」だと思ふ。

このように子供たちと楽しい対話をする中で、わたくしは「学ぶ」とは「違いを認めること、平和を希求すること」と考えました。その考えを少し詳しく述べます。

昨年8月に行われた広島市の平和記念式典で、子ども代表として、広島市の小学校6年生の一人が、次のようなことを訴えました。「本当の強さとは、**違いを認め**相手を受け入れること、思いやりの心を持ち相手を理解しようとすることです。本当の強さを持てば、**戦争は起こらない**はずです」と訴えました。

学校で国語や算数などの学習をして、言葉の使い方や文章の作り方、計算の仕方などを学んでいます。これらのことを学び、理解することも大切だと思いますが、同時に友達と違う表現や違う計算の仕方などがあることを互いに認め合うことも大切な学びです。つまり、国語や算数の学習を通して、山崎さんの訴えにあるように「違いを認め相手を受け入れること、思いやりの心を持ち相手を理解しようとすること」を、子供たちは教科の学習を通して学んでいるのです。教科の学習は、単に表現や計算の仕方を学んでいるだけではないのです。違いを認めることで、平和に生きることを学んでいるのです。

いろいろな友達や先生との出会い、人は一人ひとりが違うから面白いし、人に学べるし、支え合えるのです。得意なことが違うから教え合えるのです。違う人間が一つのことをするのは難しいから、協力して一つになれたときは感動するのです。グローバル社会と言われるこれからの国際社会では、違いを認め合えることは、とても大切な学びです。

【附属幼稚園】

年長児は、1月末から週1回ずつ、合計5回の「小学校の給食体験」をしました。附属山口小学校の栄養教諭の先生に給食時の約束や配膳の仕方、食べ方、片づけ方を習い、給食を頂きました。繰り返し経験することで給食の手順が分かり手際もよくなり、楽しみにしている様子が見られました。

また、これまで年長児が行っていた「ウサギのお世話」を卒業を前に年中児に引き継ぐ機会をもちました。年長児と一緒にウサギ小屋の掃除をしたりエサ入れを洗ったり、エサをあげたりしながら世話の仕方を伝えていました。年中児は「星組（年長児クラス）になったらがんばってね。お願いします。」と年長児に言われ、「がんばります。」と張り切って答えていました。

「お別れ遠足」では、異年齢で遊びを楽しむ姿も見られました。



【附属山口小学校】

2月14日に、来年度に向けた新委員会の活動が始まりました。5年生を中心に、学校を引っ張っていくために準備を進めています。13日には、中学校の先生方が6年生の様子を参観に来てくださいました。来年度の中学校での学習に向け、一貫した指導ができるよう準備をしているところです。また、6年生児童が中学校の学校生活の様子を見学に行きました。15日には、長縄大会を行いました。学級ごとに息を合わせ、自分たちの記録に挑戦しました。21日には、4年生が「10歳の集い」を行いました。高学年に向け、気持ちを新たにしているところです。3月1日には、6年生を送る会を行いました。6年生のためにダンスや歌、劇などを練習し、一生懸命に表現することで感謝の気持ちを伝えました。行事満載の学年末でした。

そして、3月14日には卒業証書授与式を挙行了しました。保護者の皆様、地域の皆様に見守られ、67名の卒業生が巣立って行きました。小学校での学びを生かしながら、更に活躍することを祈っています。



10歳の節目に
決意を新たにしました

6年生に感謝の
気持ちを伝えました

学級で心を一つにし
記録に挑戦しました

67名の卒業生が
附属山口小を巣立ちました

【附属山口中学校】

今年度は、一貫教育の取組の一つとして、附属小学校で行っている「フリートーク」を受け、中学校での「テーマトーク」に力を入れました。11月の幼小中一貫教育実践研究発表会でも参会者の方々に「テーマトーク」の様子を見ていただきました。以下が「テーマトーク」の目的や実践内容です。

【目的】

- 生徒が自分たちの力で議論し、学校のあり方について考えたり、課題を解決したりする。
- コロナ禍で生徒総会などが容易に開けなかったことを踏まえて、生徒会の「学校の課題を解決するために話し合う場を設定する」という役割を果たせるようにする。

【実践内容】

☆実際の「テーマトーク」では、各実行専門委員長が全校生徒に考えてもらいたいテーマを提示し、クラス議長の司会進行のもと、一人ひとりがそのテーマを考えることで、よりよい学校生活を送れるように議論していきました。委員長が考えたテーマの一例は次の通りです。



- ・「話す」と「聞く」どちらの多い授業がよい授業だと思いますか？
- ・附属中学校のきまりの中で必要のないものはありますか？また、新しく必要なきまりはありますか？